平成16年度当初予算の概要

平成16年度予算は,市税収入が3年連続で前年度を下回るとともに,三位 一体の改革に伴い,普通交付税と臨時財政対策債を合わせた総額が,前年 度を大幅に下回るなど,極めて厳しい財政環境での編成となった。

編成にあたっては,歳入の積極的な確保,徹底した行政改革の推進などにより,限られた財源の重点的·効率的な配分に努め,新5か年計画の推進を基本として,重点7分野を中心に施策の充実を図った。

特に,斎場建設や市民球技場(仮称)整備,保健福祉センター整備など市民生活に密着した施設整備の着実な推進を図った。

1 予算編成の背景

(1)国の予算規模

一般会計 82兆1,109億円 (前年度比 0.4%増) 一般歳出 47兆6,320億円 (前年度比 0.1%増)

(2)地方財政計画

規 模 84兆6,669億円 (前年度比 1.8%減)

(3)本市の財政見通し

歳 入 市税収入 1,590億円 (前年度比 1.9%減)

三位一体の改革の影響

国庫補助負担金の一般財源化等の影響 17億2,600万円 所得譲与税の創設 14億8,700万円

普通交付税 25億円 (前年度比 16.7%減)

(臨時財政対策債を合わせた総額 175億円,前年度比 27.1%減)

市 債 新たに,地域再生事業債を有効活用

歳 出 生活保護費などの扶助費の増,市民生活の質的向上を 図るための各施策に多額の財政需要

2 予算編成方針

(1)新5か年計画の着実な推進

環境問題,少子化対策など7分野へ引き続き重点的な取り組み

(2)行政改革の推進

「新行政改革推進計画」に基づく,事務事業の徹底した見直し

3 平成16年度予算規模

一般会計 3,456億円 (前年度比 74億8,000万円増 2.2%増) 特別会計 3,676億800万円(前年度比309億3,600万円増9.2%増) (19会計) **合** 計 7,132億800万円 (前年度比384億1,600万円増5.7%増)

4 新5か年計画の進捗率 約 77%(累計)

5 重点7分野への予算反映状況

主要事業の件数及び予算額〔そのうち新規・拡充の件数及び予算額〕

(1)環境問題への対応	3 0 件 1 0 件	40億4,800万円 6億7,900万円〕
(2)少子化対策	3 8 件 2 1 件	1 5 4 億円 40億9,300万円〕
(3)高齢社会への対応	1 7 件 7件	40億3,200万円 2億7,900万円〕
(4)都市イメージの確立	23 件 10件	2 億円 7,000万円〕
(5)地域経済の活性化	2 1 件 13件	128 億4,100万円 22億5,900万円〕
(6)都市再生への取り組み	10 件 -	135億3,100万円 -)
(7)情報化の推進	10 件 6件	1億4,400万円 6,600万円〕
総額	1 4 9 件 6 7件	501 億 9,700 万円 74億4,600万円〕